

役員一覧 / Officer

会 長	内山 真（株式会社 内山鑑定事務所）
副 会 長	井上 浩一（株式会社 高本損害鑑定事務所）
	太田 英俊（株式会社 中央損保鑑定）
	藤得 牧（東京損保鑑定 株式会社）
専務理事	梅田 厚（専任）
理 事	五十嵐 章（株式会社 札幌鑑定）
	岩泉 和則（株式会社 東鑑）
	加藤 友好（株式会社 名鑑）
	中村 司（有限会社 北陸損保鑑定）
	野田 昇一（株式会社 かがやき鑑定）
	野間 隆則（西日本鑑定 株式会社）
	藤原 昌明（株式会社 三和鑑定事務所）
	森園 哲之（株式会社 福岡損保鑑定）
監 事	中川 博史（税理士法人 AIO）

※五十音順

会場アクセス / Access



● 電車をご利用の場合

- 東京メトロ 千代田線「新御茶ノ水駅」 B2出口より徒歩約1分
- 東京メトロ 丸の内線「御茶ノ水駅」 出口1より徒歩約4分
- JR中央・総武線「御茶ノ水駅」 聖橋口より徒歩約1分

主催・フォーラム運営本部

一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会

<https://www.kanteinin.or.jp/>

〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 TEL 03-3254-6454 (代)

第6回 損害保険鑑定人 フォーラム



2019.11.8(金) - 9(土)

メイン会場・ブースエリア

御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター2F
「sola city Hall」

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6

ネットワークミーティング

銀座アスター お茶の水資館

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-3
新お茶の水ビル 21F

8日 13:30 ~ 17:30 講演、パネルディスカッションなど

18:00 ~ ネットワークミーティング

9日 09:30 ~ 16:30 講演、パネルディスカッションなど

〈主催〉

一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会

会長メッセージ / Message



皆さま、第6回日本損害保険鑑定人フォーラムにお越し頂きまして誠にありがとうございます。

今年2019年は、令和元年、新天皇が即位された記念すべき年となりました。日々の日常にまみれていると、自分の年齢すら数え忘れてしまいますが、さすがに年号が変われば、いやがうえにも時代の移り変わりを感じさせられます。

さて、今年のフォーラムのメインテーマは「探求」としています。時代が変われども、鑑定人がその存在価値を発揮して行けるように、私たちは私たちの在るべき姿を探求し、専門性を高めて行く必要があります。

今年も全体を大きく3つのセクションに分けて、順次進めて参ります。1つ目のテーマは、顧客本位の業務運営について、2つ目のテーマは、火災～木造密集地に潜む大火のリスク、3つ目のテーマは、劣化と保険事故の検討、です。毎年多くの専門家の皆さまにご登壇頂き、刺激的なあるいは参考になる知見をご披露いただけることは、大変ありがたいことと存じます。そして、場内ご参加の皆さまの積極的なご発言が、各テーマの議論を深め、フォーラムの価値をさらに高めることとなりますので、皆さまから忌憚りの無い質問や積極的な発言をお願いします。

私たち鑑定人の専門性を高める弛まぬ努力が、健全な保険社会を日本に、また世界にもたらすものと信じて疑いません。当協会は、いま公益法人化を目指しています。実務に精通した、質の高い鑑定人を数多く輩出して、社会の期待に応えてゆけるよう、今後も各方面の皆様との対話、鑑定人の教育・訓練の充実に努めて参ります。引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会
会長 内山 真

DAY1

13:30 - 17:30

テーマ①

顧客本位の業務運営



2017年に金融庁が定めた「顧客本位の業務運営に関する原則」に基づき、各保険会社もそれぞれの業務運営方針を発表しました。各社ともその中に保険金の支払いに関する項目がはっきりと記載されています。また、損害保険契約の入り口で契約者に説明を行う損害保険代理店にも顧客本位の業務運営に沿った行動が求められています。当然、保険事故の鑑定時点で直接顧客と接触する鑑定人にも、保険金の支払について業務運営方針に掲げている保険会社の委託を受けている訳ですから、お客様に対して顧客本位の業務運営に基づいた対応が求められます。

まずは日本保険学会会員並びに金融庁金融審議会の専門委員をされ、また一般社団法人日本損害保険代理業協会のアドバイザーもされている弁護士法人 中央総合法律事務所の錦野裕宗弁護士より「損害保険鑑定人の『顧客本位とは』？」というテーマで「顧客本位の業務運営に関する原則」作成の背景やその狙い、そして同原則の保険金支払いに関する項目を重点に講演いただければと思います。

次に我々鑑定人よりも先に代理店の立場で「顧客本位の業務運営」に取り組んでいる一般社団法人日本損害保険代理業協会の理事もされている(株)グッド・サポート 中島克海代表取締役より講演いただきます。この「顧客本位の業務運営」についての具体的かつ我々に参考となるお話が聞けるのではと思います。

パネルディスカッションでは講演していただいた代理店の中島社長と錦野弁護士、さらに我々鑑定人を交え鑑定人へのアドバイス並びに鑑定人に対する要望などについて議論を深め、鑑定人にとつての顧客本位とはどのようなもので、我々にできることは何かを考えていきたいと思います。

コーディネーター



藤得 牧
日本損害保険鑑定人協会 副会長

プログラム / Program

(敬称略)

講演	イントロダクション 一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会 副会長 藤得 牧
	損害保険鑑定人の「顧客本位」とは？ 弁護士法人 中央総合法律事務所 弁護士 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 アドバイザー 錦野 裕宗
	地域密着のプロ代理店における顧客本位の業務運営とは 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 理事 株式会社 グッド・サポート 代表取締役 中島 克海

ブース出展企業・紹介

コーヒーブレイク (30分)

パネルディスカッション

ファシリテーター：竹内 康人 (WG メンバー・有限会社 むさし野損害鑑定)
パネラー：錦野 裕宗 (弁護士法人 中央総合法律事務所)
中島 克海 (一般社団法人 日本損害保険代理業協会)
＜顧客本位の業務運営テーマ WG メンバー＞
北村 さやか (東京損保鑑定 株式会社)
藤得 牧 (東京損保鑑定 株式会社)
山田 純 (株式会社 名鑑)

※当日の都合等により、やむを得ずスケジュールに変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

火災 ～木造密集地に潜む大火のリスク～



近年は建築基準法や都市計画法、消防法の整備により都市の防災化が進められ昔のような市街地の大火は発生しないであろうと考えられていました。しかし、2016年12月22日、新潟県糸魚川市駅前にある一軒のラーメン店から出火した火災は、実に147棟（30,000㎡超）が焼損する市街地火災に発展しました。防火に関する法整備にも関わらず、どのような原因で大規模な火災に発展したのか？

そこで、このフォーラムでは糸魚川市大規模火災の延焼原因を研究するとともに、都市計画上の防災の観点からも現在の都市の木造密集地に潜む大火のリスクの実態を探ってみます。

最近の鑑定人業界は、多発巨大化する自然災害により従来の火災事故のウエートが少なくなってきましたが、やはり火災リスクに対する国民の備えは火災保険であり火災保険による復旧の役割は非常に重要なものと考えます。

そこで、このパートではまず東京理科大学大学院の関澤愛教授から「糸魚川市大規模火災から何を学びどう備えるか」というテーマで、更に国土交通省国土技術政策総合研究所の主任研究官の樋本圭佑様から「都市計画法における防火構造の制限と既存不適格物件の適合について」というテーマについて講演をいただきます。後半は実際に糸魚川市大規模火災後の現状を視察したワーキングメンバーも交え、先生方とパネルディスカッション形式で木造密集地の延焼原因を探求します。

このテーマを通し、都市型防災への意識を深めるとともに、火災保険の関わりについて考え、今後の鑑定業務に生かせる情報を発信したいと考えます。

コーディネーター



井上 浩一
日本損害保険鑑定人協会 副会長

プログラム / Program

(敬称略)

講演	<p>イントロダクション 井上 浩一 一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会 副会長</p> <p>糸魚川市大規模火災から何を学びどう備えるか 関澤 愛 東京理科大学大学院 国際火災科学研究科 教授 工学博士</p> <p>都市計画法における防火構造の制限と既存不適格物件の適合について 樋本 圭佑 国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 防火基準研究室 主任研究官</p>
コーヒーブレイク (20分)	
パネルディスカッション	<p>糸魚川市大規模火災後の現状と課題—視察報告 ファシリテーター：伊藤 優（株式会社 アスカ総合鑑定） パネラー：関澤 愛（東京理科大学大学院） 樋本 圭佑（国土交通省 国土技術政策総合研究所） ＜火災テーマ WG メンバー＞ 井上 浩一（株式会社 高本損害鑑定事務所） 齋藤 佑介（株式会社 内山鑑定事務所） 田中 公成（株式会社 甘糟鑑定事務所）</p>

※当日の都合等により、やむを得ずスケジュールに変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

劣化と保険事故の検討



近ごろはネット等で住宅のリフォームを勧める広告をよく見かけますが、国民生活センターのホームページでは、訪問販売によるリフォーム工事や、「点検に来た」として来訪し「工事をしないと危険」などと言って契約させられたが、「代金を前払いしたのに着工されなかった」「解約しようとしたら多額の手数料を取られた」などといった相談が多数寄せられていると報告されています。中でも「保険金を使って住宅を修理しませんか」などと言って勧誘する業者に関する相談が高齢者から数多く寄せられているとのこと、過去10年間で約22倍に増加しているようです。

鑑定業務においても、業者の勧めにより風災や雪災といった自然災害の事故として保険請求される事案が増し、劣化部分も含めた過大な修理見積が提出されるケースも多発している為、本パートは外装材本来の性能や施工方法、自然劣化と事故の特徴的な違い等について理解を深める機会となるよう当該テーマを取り上げました。

まず、国土交通省 国土技術政策総合研究所の宮村様より「木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクについて」ご講演いただき、推奨される施工方法も踏まえて建物外皮が劣化・損傷する要因を紐解いてもらうと共に、全日本瓦工事業連盟 副理事長の足立様より屋根周りの経年変化の特徴について詳しくお話しいただき、劣化と保険事故との違いを見極める為の要点を探りたいと思います。

また、パネルディスカッションでは全員参加型のスタイルで、会場からもスマホを使ってその場で意見を集約しながら、普段の実務で困っていることや、より詳しく知りたいこと等にも焦点を当て、議論を進める取り組みも考えています。

コーディネーター



太田 英俊
日本損害保険鑑定人協会 副会長

プログラム / Program

(敬称略)

講演	<p>イントロダクション 太田 英俊 一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会 副会長</p> <p>木造住宅の雨漏り、結露、劣化リスクについて 宮村 雅史 国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室 主任研究官</p> <p>屋根の経年変化を考察する 足立 英明 一般社団法人 全日本瓦工事業連盟 副理事長</p>
コーヒーブレイク (25分)	
パネルディスカッション	<p>ファシリテーター：太田 英俊（一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会 副会長） 藤原 昌明（一般社団法人 日本損害保険鑑定人協会 理事） パネラー：宮村 雅史（国土交通省 国土技術政策総合研究所） 足立 英明（一般社団法人 全日本瓦工事業連盟） ＜劣化と保険事故の検討テーマ WG メンバー＞ 石井 健一（株式会社 中央損保鑑定） 日比野 成紀（株式会社 名鑑） 吉田 貴則（株式会社 内山鑑定事務所）</p>

※当日の都合等により、やむを得ずスケジュールに変更が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

アジア航測 株式会社

アジア航測では、地震、台風や集中豪雨による河川氾濫、土砂災害などの自然災害が発生したとき、被害の状況を正確に把握することが防災・応急対策にとって重要と考え、独自の判断により自社保有機による自社撮影を行っています。また、コンサルタント技術者による、判読・解析、被災判読図作成も行っており、自社撮影により得られた撮影画像や地形データだけではなく、衛星画像やドローン、車載カメラなどから得られた情報も活用すると共に、AI や IoT 技術などを用いた革新的な技術開発にも積極的に挑戦をしております。得られた情報は随時ホームページ上で公開して参ります。弊社技術が、現地の詳細解明ならびに二次災害の抑制に少しでもお役に立てれば幸いです。



株式会社 CUBIC

株式会社CUBICは、高所撮影・俯瞰撮影ができる高所撮影点検システムを、開発・販売しております。高所撮影点検システムは、自由に持ち運びながら、地上に設置して11.5mの高さまで撮影できるシステムです。従来製品より1.5m延長し、三階住宅をより詳細に撮影することができます。2030万画素、光学40倍ズーム、Wi-Fiデジタルカメラを使用し、簡単な操作で、高精細な撮影ができます。住宅屋根や外壁、樋、太陽光パネル、高速道路、構築物、高所設備などの点検、災害現場や建築現場、遺跡や文化財の撮影・点検などにお使い頂いております。



京王観光 株式会社

京王観光(株)は京王グループの一員として京王沿線を中心に展開している旅行代理店です。弊社では災害時に現地に派遣される鑑定人の方々の宿泊の手配を行っております。ホテル予約についてはインターネットが主流となる中、旅行代理店のメリットを生かした宿泊施設のご案内、各施設の精算の一本化によって皆様の宿泊手配業務の軽減化を図ります。宿泊施設の手配については弊社の独自ルートだけでなく、大手旅行会社の宿泊枠を利用するなどし、現地のホテルの多くが満室の場合でも可能な限りご案内できるよう努めております。また各地域、各ホテルと多くの支払が必要になる鑑定人のホテル手配ですが、弊社手配によって支払いの一本化、支払方法についても相談可能です。



株式会社 セキド

株式会社セキドは、ドローンの世界最大手であるDJI社製品の取り扱いを日本国内で初めて開始した企業です。これまで4万社を超える企業や官公庁・学校・研究機関との取引実績があり、定期的にドローン操縦研修を開催、述べ7千名以上のお客様にご参加頂いております。また、ドローンをを用いた様々な調査点検業務の受託実績がございます。●目視では確認が困難な広大な敷地や、太陽光パネルなどの損害調査 ●自然災害で破損した建物や、土砂崩れの現場など立ち入り困難な場所での損害調査や3Dモデルの構築 ●社内パイロット育成の為のドローン操縦研修 ●国土交通省へのフライト申請代行業務 ●用途に応じた最適な調査点検用機材のご提案など、ドローン導入や活用方法に関する多種多様な案件のご相談を承ります。



株式会社 総合システムプロダクツ

株式会社 総合システムプロダクツは、ユーザー企業の業務の効率化・活性化における高度戦略システムの構築、運用支援、情報機器の販売、セキュリティ対策、クラウドサービスまでトータルに提供させて頂きます。●鑑定業向け・受注案件管理システム…案件の対応状況・進捗管理、請求書の発行が可能。●勤怠管理システム… 2019年4月より「働き方改革関連法」が施行されました。「残業時間の上限規制」や「年5日の年次有給休暇の取得」など、法律に違反すると罰則の対象になり得るものもあります。勤革時なら、働き方改革関連法に即した安全な勤怠管理がすぐにできます！●経費精算システム…経費精算にかかる時間を1/10にできるクラウド型経費精算システムです。カード明細や交通系ICカードの自動読取、レシート入力の自動化などで徹底的に手入力をなくします。



一般財団法人 日本建築総合試験所

日本建築総合試験所(日総試)は、主として建築全般に関する高品質で信頼性のある試験・研究・評価・審査・認証等の業務を通じて、建築の質の向上と安全性の確保とともに国民生活の向上に貢献することを目的としている、公正中立な第三者機関です。このうち、耐震耐久性調査室が行う火害診断業務は、火災にあった各種建物の構造躯体の再利用の可否および補修・補強の要否の判断資料を得るため、日本建築学会「建物の火害診断および補修・補強方法 指針・同解説」に基づく調査を実施しております。同指針では、調査結果から、火害を受けた各構造部材に対して火害等級を診断した後、建物全体に対する被災度を判定します。



株式会社 フランクリン・ジャパン

フランクリン・ジャパンは、1991年5月に創業した気象会社です(気象庁予報業務許可第33号)。当社は正確な雷データを得るために独自の雷観測網を全国に展開し、そのデータを広く一般に提供して安全のために役立てることを目指してきました。そして現在、全国雷観測ネットワーク「JLDN- Japanese Lightning Detection Network」の雷データは、TVの気象情報やYahoo!JAPAN天気・災害「落雷情報」でご覧いただける他、屋外レジャー施設や工場等で人命や設備を守るための情報として活用されています。また蓄積された全国の雷データにより、「落雷証明書」の発行や落雷事故の検証データのご提供、統計データの作成を行っております。今回の展示では、保険会社様でご利用実績のある、Web上で雷データを取得し、ご発注からお支払いまでの一括管理も可能なサービス「LiDas -Lightning Data output System-」について、新たに追加された機能も含めて、その詳細をご案内いたします。



BELFOR Asia グループ - 【ベルフォアジア株式会社・リカバリープロ株式会社】

ベルフォアは、世界最大級の災害復旧サービスの提供を専門とする企業グループです。ベルフォアアジアは、シンガポールに本社を置き、日本、中国、韓国、台湾、及びタイに法人があります。24時間365日対応で、経験豊富な専門スタッフが現場に駆け付け、専門技術や自社開発の洗浄剤、専用機器などを駆使して、お客様の早期復旧のお手伝いをさせていただきます。

- 対象業種：食品・飲料、化学・製薬、繊維、金属加工・プラスチック加工、ホテル・旅館・レストラン、通信、自動車、鉄道、船舶関連 等
- 対象事故：火災、水災/水濡れ、津波、台風、洪水、化学物質の漏洩、汚損 等



会員一覧 (本社所在地) / Member

※エリア別・五十音順

九州・沖縄地区	株式会社 かがやき鑑定	有限会社 グローバル鑑定事務所	株式会社 湘南鑑定
有限会社 赤坂鑑定事務所	有限会社 神戸天神鑑定	有限会社 静岡損保鑑定	株式会社 中央損保鑑定
有限会社 沖縄損保鑑定	有限会社 酒井鑑定事務所	有限会社 高岡鑑定事務所	株式会社 東 鑑
株式会社 三立鑑定	有限会社 さくら鑑定事務所	有限会社 中日鑑定事務所	東京損保鑑定 株式会社
株式会社 相 鑑	株式会社 三和鑑定事務所	株式会社 中部総合鑑定	株式会社 永松鑑定事務所
株式会社 高本損害鑑定事務所	有限会社 須磨鑑定事務所	有限会社 つばさリスクアジャスティング	株式会社 みなと鑑定事務所
株式会社 福岡損保鑑定	有限会社 総合技術鑑定	有限会社 北陸損保鑑定	有限会社 むさし野損害鑑定
株式会社 ホーネット鑑定	有限会社 高本鑑定事務所	株式会社 丸の内鑑定事務所	株式会社 山貴総合鑑定
中国・四国地区	有限会社 天神鑑定関西	みずほ鑑定 株式会社	株式会社 横浜鑑定事務所
インフィニティ 株式会社	株式会社 トラストクレームサービス	株式会社 名 鑑	
黒崎鑑定社	阪和鑑定 合同会社	有限会社 大和鑑定	北海道・東北地区
西日本鑑定 株式会社	湊損害鑑定 有限会社		株式会社 札幌鑑定
有限会社 古市鑑定事務所	株式会社 若葉総合鑑定		株式会社 デーエム
関西地区		関東地区	有限会社 道央損保鑑定
あおぞら総合鑑定 有限会社	中部地区	合同会社 i Cube	株式会社 北海道鑑定
あずま鑑定	有限会社 葵鑑定事務所	あずさ損保鑑定事務所	社の都鑑定 株式会社
大野鑑定事務所	株式会社 アスカ総合鑑定	株式会社 甘糟鑑定事務所	渡部鑑定事務所
	有限会社 遠州損保鑑定事務所	株式会社 内山鑑定事務所	
	株式会社 S&S損保鑑定	有限会社 共和鑑定	
		株式会社 芝浦鑑定	